



立山連峰とみくりが池

富山県の東部、立山連峰の麓に位置し、日本の滝百選に選定されている「称名滝」を紹介します。

ご当地  
自慢

しょうみょうたき  
称名滝

77

富山森林管理署

称名滝のある立山町は、年間約百万人の観光客が訪れる国際山岳観光地である「立山黒部アルペンルート」を擁しており、近年では、国内初の氷河の発見、弥陀ヶ原・大日平（だいにちだい）のラムサール条約湿地の登録、立山信仰の伝統儀式「布橋灌頂会（ぬのばしかんじょうえ）」の日本ユネスコ協会連盟によるプロジェクト未来遺産登録などを契機として、さらなる盛り上がりを見せています。

立山町の名所の一つでもある称名滝は、多くの人を魅了する立山連峰を源流とし、称名峡谷から四段に折れながら三五〇級流れ落ちる、落差日本一を誇る大瀑布で、国の名勝、天然記念物に指定されています。

称名滝は、その爆音が「南無阿



日本の滝100選「称名滝」

弥陀仏」と称名念仏のように聞こえたことから名づけられたと言われており、十年間に一歩のスピードで浸食され、現在の位置まで後退しています。

また、雪解け水が多く流れ込む春や大雨が降った後などには、称名滝の右側に幻の滝と呼ばれる「ハンノキ滝」が現れ、二つの滝のコラボレーションは、まさに大自然が作り出す芸術です。

今シーズンから、称名滝の迫力をより多くの人に楽しんでもらうため、遊歩道を走る電動カー（シニアカー）のレンタルもできるようにになりました。



称名滝とハンノキ滝のコラボ



◆所在地  
富山県中新川郡立山町芦峯寺

◆アクセス  
【公共交通】富山地方鉄道立山駅から称名滝探勝バス称名滝行き約十五分、徒歩約三十分  
※称名滝探勝バス通行期間  
四月下旬～十一月中旬

【自動車】北陸自動車道立山ICから約五十分後徒歩約三十分

◆お問い合わせ 立山町観光協会  
TEL 〇七六-四六二-一〇〇一